

デジタル・ファブリケーションとグローバルインターネット

- インターネットは、技術開発、商用化、社会からの警戒を経て、全人類で共有するグローバル空間に発展。デジタル・ファブリケーションも、同様のステップを辿って発展するのではないか。
- インターネットは、コンピュータのネットワークから始まったが、インターネット前提社会(After Internet、ファブ社会)では、70億人を超える参加者、1000億のデバイスとセンサー、そこを流通し共有される無限のデジタルデータが前提になる。

インターネットの特性

ファブ社会発展のために重要なポイント

ファブ社会の課題例

Global/ Local

- 地球上の全人類が共有するGlobalなデジタル空間は、所在地、国籍に関係なく自由に人と人がつながり、コミュニティを作ることが可能であり、Internationalとは異なる。
- 他方、紛争は国家間で解決されるため、国際機関(WIPO等)国との調整や国際標準化が重要。
- 今後、位置情報、時空間情報の活用等を通じLocalも重要に。

• 品質管理

透明性
 ソーシャル品質管理
 クラウドソース品質保証
 個体識別(RFID)
 MHSソーシャル監査

Social/
Personal

- Socialという考え方において重要なのは、Participant(参加者)が何を自由にか自由に決め、Contribution(貢献)できること。
- 同時に、個々人に役割、権利、責任ができ、創造的生活者の潜在力が発揮できるというPersonalという考え方も重要。

• モノの知財管理

CCライセンス
 グローバルレポジトリ
 国際知財管理

二次創作可能なArchitecture

- インターネットの発展に、ソースコードの表示等、二次創作が自然と起こるアーキテクチャが貢献。この特性は維持すべき。
- 感性インデックスをはじめとする人間のインデックス化が、今後の共創に重要。

• 製造物責任

WEB説明責任
 ソーシャルPLシステム
 マルチステークホルダー